

A stylized pink cherry blossom with five petals and a yellow center, serving as a background for the text.

NPO法人
チーム・さくら

人口減

子ども

就労適齢世代

NPO法人
チーム・さくら

底辺を支える

この事業は**津市民の生命を守る**活動です。

市民の**生活をサポート**することを目指します。

存在・活動が「**津市の財産**」と言われたい☆

市民活動推進事業実績報告会



ドローンを用いた 災害情報等収集・表示システム

令和3年6月12日
NPO法人チーム・さくら



当会の紹介

底辺を支える

◆ NPO法人チーム・さくら とは

- ◆ 私たちは、高齢者に対して、各種関係機関、地域住民との連携を図りながら、**就労・社会参加する機会の確保**に関する事業を行うとともに、農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動を通して**地域社会の福祉の向上**に寄与することを目的として、平成30年4月に設立した団体です。

社会の歪みに苦しむ弱者の保護

特定非営利活動の種類

- (1) 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
- (2) 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
- (3) 保健、医療又は福祉の増進を図る活動
- (4) 環境の保全を図る活動
- (5) 災害救援活動

今回報告する事業

ドローンを用いた災害情報等収集・表示システム

◆ 目 的

私たちは、「**民の力**」で**災害救援活動**の一環として、被災状況をドローンを用いて空撮することにより、地上からは近づけない地域、及び地上撮影では時間的・空間的に制約される地域の画像・映像を収集して、**迅速・的確な救援活動実施、又はその支援・補完に資する**ことを目的とします。

◆ **一人でも多くの生命を守る**

令和2年度 事業方針

- 平成30年度からの継続事業（3年目の事業）として取得したドローンを用いて、災害発生時における被災情報の収集・伝達態勢の基盤構築に向けた体制整備及び映像伝送に必要な知識・技能の習得・向上を事業方針として活動しました

令和2年度の目標

- 第1は、当団体が「ドローンを活用した防災・減災対策に取り組んでいる団体」であることを広く認知して頂くこと。
- 第2は、当団体が「ドローンの飛行に関し高度な知識・技能を備えていること」をアピールできるよう、国土交通省が認めるドローン操縦認定校として認可を受けること。

成果の概要その1

- 令和2年8月5日(水)～6日(木)参加人員:10名
三重大病院体育館
- 三重大病院の防災担当職員及びDMAT要員を対象に体験操縦講習を開催
- ドローン映像が上空から被害状況を確認するのに非常に有効であることを体験してもらった。



成果の概要その2

- 令和2年11月5日(木)
参加人員:5名
- 三重大病院の担当者に対し、
ドローン映像のリアルタイム
伝送による対策本部におけ
るライブ配信技術のアドバイ
スを実施。



成果の概要その3

- 令和3年2月20日(土)
参加人員:三重大学病院
の計画による。
- 三重大学病院の大規模地震
を想定した訓練において
被害状況をドローンの飛行
映像を対策本部にリアルタ
イムで伝送するシステムを
技術支援した。



成果の概要その4

- 令和2年7月1日
国土交通省航空局認定の
講習団体として登録
- 講習教官要員の50時間以上
の飛行経験を積むための
訓練を実施
- 認定校となるため、各種規則、
マニュアル、テキスト等の
作成・整備を実施



成果の概要その5

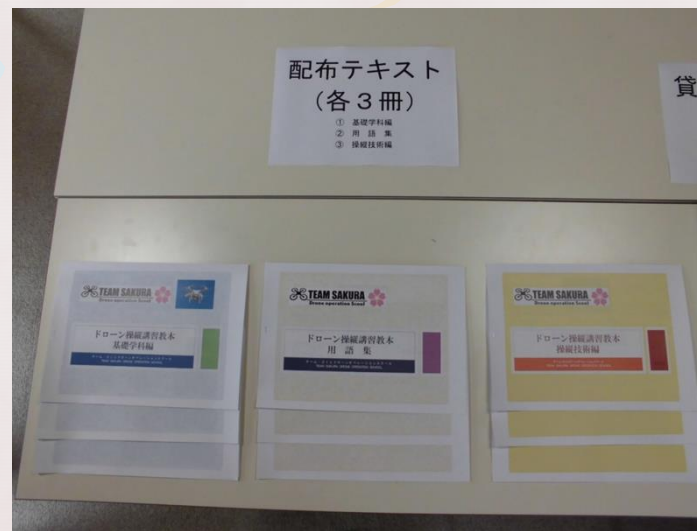
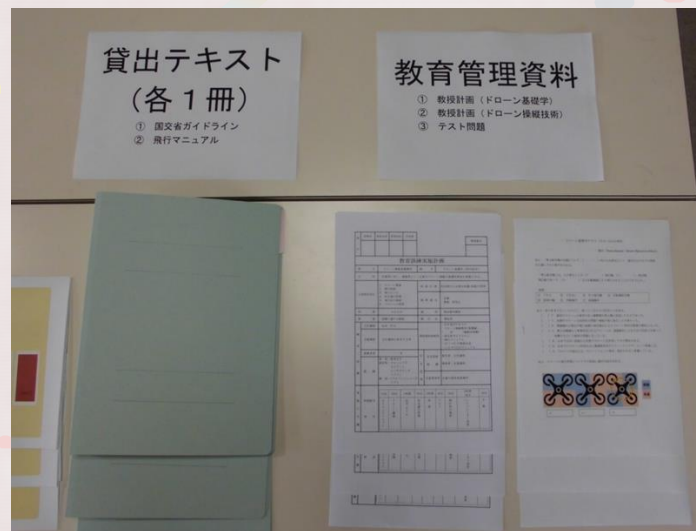
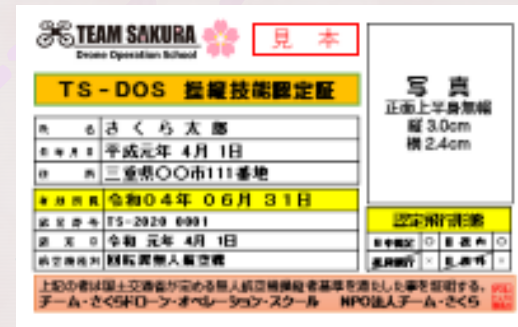
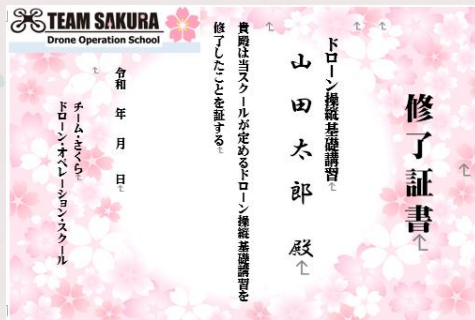
- 令和2年7月19日
参加人員約20名
- その他として、無線技術有資格者による活動
- 自治会から防災簡易無線の使用法の普及教育を依頼され、講習会を実施

講習内容

デジタル簡易無線機（登録局）

- ① 防災無線機の概要と取扱操作方法
- ② 保管方法と注意点
- ③ 基本的な情報伝達方法
- ④ 実技演習

整備した規則類、マニュアル、テキスト等



取得したドローン



備品1： ドローン本体 ファントム4

購入消耗品展開写真(1)

消耗品1
LANケーブル



消耗品2
HDMIエクステンダー



消耗品3
ミラーキャスト



消耗品4
中間接続器 (HDMI メス-メス)

購入消耗品展開写真(2)



消耗品5
モバイルバッテリー



消耗品6
ソーラーチャージャー



消耗品7
マイクロSDカード



消耗品9
更新電池(ファントム4用)



消耗品8
USBホスト変換アダプター

令和2年度市民活動推進事業の 事業報告及び収支決算書

収 入			支 出		
項目及び内容	金 額	市費充当額	項目及び内容	金 額	市費充当額
市交付金	円 141,127	円 141,127	交通費	円 5,000	円 0
自己資金	141,127		消耗品費	59,994	42,497
			印刷製本費	20,000	10,000
			保険料	37,260	20,000
			委託料	110,000	18,630
			備品購入費	50,000	50,000
合 計	282,254	141,127	合 計	282,254	141,127

支出明細表

支出区分	金額	支出明細	領収書No.
交通費	5,000	三重大学病院無料講習会交通費(参加者自宅～三重大学病院)3名分 交通費支払根拠: 別添「NPO法人チーム・さくら規第01-03号(2019/4/1)」	1
消耗品費	2,980	映像伝送用LANケーブル(30m 10Gbps 600MHz)	2
同上	2,380	映像伝送用HDMIエクステンダー(HDMI to RJ45LAN変換アダプタ)	2
同上	2,399	映像伝送用(4Kミラーリング HDMIミラーキャスト)	2
同上	2,998	映像伝送用(HDMIメス to HDMIメス 中間接続器)	2
同上	2,145	モバイルバッテリー	3
同上	2,714	ソーラーチャージャー 25000mAh	4
同上	3,690	128GB マイクロSDカードAI V30 2個セット	4
同上	899	USBホスト変換アダプター microUSBオス→メス	4
同上	39,789	本年度購入したファントム4の電池が劣化して充電容量が低下したため、 3個の電池を更新(1時間の飛行時間を確保するため)	5
印刷製本費	20,000	マニュアル、規則類印刷費 (機材を借用した東大淀地区まちづくり協議会への支払い)	6
保険料	37,260	3機のドローンの保険代(1年更新)	7
委託料	50,000	ドローンの飛行に必要な国土交通省に提出する許可・承認書(年間総括 申請)申請手続き関する行政書士への委託料	8
委託料	30,000	ドローンの飛行に必要な国土交通省に提出する許可・承認書(操縦技能 認定証取得)申請手続き関する行政書士への委託料	9
委託料	30,000	ドローンの飛行に必要な国土交通省に提出する許可・承認書(ドローン機 体追加)申請手続き関する行政書士への委託料	10
備品購入費	50,000	ドローンの予備機確保のため、ドローン本体購入 ファントム4(中古品)	11
合計	282,254		

おわりに

- この事業は
津市民の生命を守る活動です。
- 国交省から1年後には運転免許同様の
ドローン免許制度がアナウンスされています。
- 必要な装備を駆使して、自らの訓練努力で、
市民の生活をサポートすることを目指します。
- 私どもの存在・活動そのものが、
「津市の財産」と言われたい。

おわり



ご清聴ありがとうございました。